

令和6年度 書写 第1学年年間指導計画 杉並区立杉森中学校

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
7月	<p>4. 日常に役立つ書式</p> <p>はがきの書き方 (教科書 P114-115) ◎葉書の基礎的な書き方を学ぶ意義を理解することができる。[知技(3)エ(ア)・(イ), (1)イ, A(2)イ]</p>	硬筆 2	<p>1 葉書の基礎的な書き方について理解し、郵便番号や住所を書く。</p> <p>2 できるだけ丁寧に自身の家庭の住所宛の葉書を作成する。</p>	<p>【知】葉書の基礎的な書き方を理解している。</p>
9月	<p>2. 読みやすく速く書くための行書</p> <p>[やってみよう] 速さを比べてみよう (教科書 P52-53) ◎漢字の行書の基礎的な書き方を学ぶ意義を理解することができる。[知技(3)エ(ア)・(イ), (1)イ, A(2)イ]</p> <p>行書の特徴 (教科書 P54-55) ◎漢字の行書の特徴を理解することができる。[知技(3)エ(イ), (1)イ, A(1)オ(2)イ]</p>	毛・硬 4	<p>1 書く速さを意識して、一面ずつ丁寧に楷書で「春・夏・秋・冬」を書く。</p> <p>2 できるだけ速く「春・夏・秋・冬」を書く。</p> <p>3 1と2で書いた文字を比べて、速く書いたときの文字の特徴を話し合い、速く、読みやすく書くことができる行書を学ぶ意義を理解する。</p> <p>1 楷書と行書で書かれた「緑」を比較して違いを見つけ、話し合う。</p> <p>2 「学習の窓」を見て、行書の特徴を理解する。</p> <p>3 行書で書かれた「緑」を指でなぞり、行書の特徴を確かめる。</p> <p>4 教科書 P55 下段を見て、今後の学習内容を知る。</p>	<p>【知】漢字の行書の基礎的な書き方を学ぶ意義を理解している。</p> <p>【思】(二つの速さで書き比べる活動のなかで、両者の形の違いを確かめている。)</p> <p>【態】積極的に(①)速く書いたときの文字の特徴を捉え(③)、学習の見通しをもって(②)行書を学ぶ意義について話し合おうとしている(④)。</p> <p>【知】漢字の行書の特徴を理解している。</p> <p>【思】(行書で書かれた「緑」をなぞるなかで、行書の特徴を確かめている。)</p> <p>【態】積極的に(①)楷書と行書の違いを考え(③)、学習課題に沿って(②)行書の特徴を話し合おうとしている(④)。</p>
10月	<p>丸み・点画の連続 (教科書 P56-57) ◎漢字の行書の基礎的な書き方(丸み・点画の連続)を理解して、身近な文字を書くことができる。[知技(3)エ(イ), (1)イ]</p>	毛筆 2	<p>1 行書で書かれた「一」を指でなぞり、楷書との筆使いの違いを理解する。</p> <p>2 「学習の窓」を見て、点画が丸みを帯びる理由と、行書で書くときの留意点を確かめる。</p> <p>3 丸みを意識して、毛筆で「一」を書く。</p> <p>4 行書で書かれた「二」「口」を指でなぞり、楷書との筆使いの違いを理解する。</p> <p>5 「学習の窓」を見て、点画が連続する理由と、主な連続の仕方を確かめる。</p> <p>6 点画の連続を意識して、毛筆で「二」「口」を書く。</p> <p>7 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「一」「三」「日」「口」を書く。</p>	<p>【知】漢字の行書の基礎的な書き方(丸み・点画の連続)を理解して、身近な文字を書いている。</p> <p>【思】(毛筆で「一」「二」「口」を書くなかで、行書の特徴&lt;丸み・点画の連続&gt;を確かめている。)</p> <p>【態】進んで(①)行書の書き方(丸み・点画の連続)を理解し(③)、学習課題に沿って(②)「一」「二」「口」を書こうとしている(④)。</p>
11月 12月	<p>点画の変化 (教科書 P58-63) ◎漢字の行書の基礎的な書き方(点画の変化)を理解して、身近な文字を書くことができる。[知技(3)エ(イ), (1)イ]</p>	毛筆 3	<p>1 楷書と行書で書かれた「大木」を比較して、点画(終筆の形)が変化している部分を鉛筆で囲み、形が変化する理由を話し合う。</p> <p>2 「学習の窓」を見て、点画の終筆の形が変化する理由と、主な変化の仕方を確かめる。</p> <p>3 行書には多様な書き方があることを理解する。</p> <p>4 点画の終筆の形の変化を意識して、毛筆で「大木」や「北西」「月光」を書く。</p> <p>5 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「大木」「北西」「月光」を書く。</p>	<p>【知】漢字の行書の基礎的な書き方(点画の変化)を理解して、身近な文字を書いている。</p> <p>【思】(毛筆で「大木」「北西」「月光」を書くなかで、行書の特徴&lt;点画の変化&gt;を確かめている。)</p> <p>【態】進んで(①)行書の書き方(点画の変化)を理解し(③)、学習課題に沿って(②)「大木」「北西」「月光」を書こうとしている(④)。</p>

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
	<b>年賀状を書こう</b> (教科書 P26) ◎葉書の基礎的な書き方を踏まえた上で、丁寧に年賀状を書くことができる。[知技(3)エ(ア)・(イ), (1)イ]	硬・毛 2	1 以前学習した葉書の基礎的な書き方を復習し、文字の大きさや配置を意識して書く。 2 年賀状に書く内容を、教科書を参考にしながらペンで下書きする。 3 フェルトペンや小筆を用いて清書する。 4 友達や普段お世話になっている人に年賀状を出す。	【知】年賀状の基礎的な書き方を理解して、文章を作成している。
	<b>点画の省略・筆順の変化</b> (教科書 P66-73) ◎点画の省略を理解して、行書で書くことができている。 [ 伝 国 (2) ア , (1) ウ (ア)(イ), B (1)ア・イ・エ]	毛筆 2	1 楷書と行書で書かれた「雲」を比較して、点画(終筆の形)が省略されている部分を鉛筆で囲み、形が変化する理由を話し合う。 2 「学習の窓」を見て、点画の終筆の形が変化する理由と、主な変化の仕方を確かめる。 3 行書には多様な書き方があることを理解する。 4 点画の終筆の形の変化を意識して、毛筆で「雲海」を書く。 5 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「雲海」を書く。	【知】漢字の行書の基礎的な書き方(点画の変化)を理解して、身近な文字を書いている。 【思】(毛筆で「雲海」を書くなかで、行書の特徴<点画の省略>を確かめている。 【態】進んで(①)行書の書き方(点画の省略)を理解し(③)、学習課題に沿って(②)「雲海」を書こうとしている(④)。
1月	<b>目標を書こう</b> (教科書 P50) ◎これまで学習したことを生かして、目標を読みやすく書くことができる。[知技(3)エ(イ)] 書き初め作品	毛筆 4	これまでに学習したことを生かして、毛筆で書き初めを書く。	【態】これまでに学習したことを生かし、主体的に作品を作っている。 【知】これまでに学習したことを理解している。これまでに学習したことを生かし、書き初め作品を書いている。
1月 2月 3月	<b>【国語】季節のしおり 1</b> (教科書 P64-65) ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(3)ア, エ(ア)・(イ), (1)イ]	硬筆 1	1 季節にまつわる詩歌や言葉を音読して味わう。 2 これまでに学習したこと(楷書の筆使い/楷書に調和する仮名/文字の大きさと配列/行書の特徴)に注意して、楷書・楷書に調和する仮名、行書で季節の言葉を硬筆でなぞる。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】(季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)季節の言葉をなぞろうとしている(④)。